

すずき よしのり
鈴木芳徳先生 略年譜・著作目録

学 歴

- 昭和30年 3月 福岡県立筑紫丘高等学校卒業
 昭和34年 3月 九州大学経済学部卒業（経済学士）
 昭和36年 3月 九州大学大学院経済学研究科修士課程修了（経済学修士）
 昭和39年 3月 九州大学大学院経済学研究科博士課程修了
 昭和51年 7月 経済学博士（九州大学）「信用制度と株式会社」

職 歴

- 昭和39年 4月 九州大学経済学部助手
 昭和40年 9月 神奈川大学経済学部専任講師
 昭和43年 4月 神奈川大学助教授
 昭和44年 9月 神奈川大学教務部長（至昭和44年12月）
 昭和45年 4月 中央大学商学部非常勤講師（至昭和46年3月）金融論
 昭和46年 4月 武蔵大学経済学部非常勤講師（至昭和49年3月）金融論
 昭和50年 4月 神奈川大学経済学部教授（金融論担当）
 昭和51年 4月 在外研究員（The University of Liverpool）（至昭和52年3月）
 昭和53年 7月 熊本商科大学非常勤講師（集中講義）証券市場論
 昭和54年 4月 日本大学大学院商学研究科非常勤講師（至平成8年3月）証券市場論
 昭和54年 4月 神奈川大学教務副部長（至昭和55年3月）
 昭和54年 4月 日本大学商学部非常勤講師（至昭和59年3月）証券市場論
 昭和55年 4月 青山学院大学経済学部非常勤講師（至昭和56年3月）金融論
 昭和56年 4月 國學院大学経済学部非常勤講師（至昭和58年3月）証券市場論
 昭和56年12月 西南学院大学商学部非常勤講師（集中講義）現代金融論
 昭和58年 4月 神奈川大学評議員（至昭和59年3月）
 昭和59年11月 神奈川大学情報処理センター所長（至昭和62年3月）
 昭和60年 9月 東北大学経済学部非常勤講師（集中講義）証券市場論

昭和61年4月 東京外国語大学大学院地域研究科非常勤講師 (至昭和62年3月) 国際金融論
昭和61年4月 東京外国語大学外国語学部非常勤講師 (至昭和62年3月) 現代金融論
昭和62年4月 神奈川大学経済学部長 (至平成1年3月)
平成2年4月 神奈川大学評議員 (至平成7年3月)
平成4年4月 九州大学経済学部非常勤講師 (集中講義) 証券市場論
平成6年10月 日本学術会議財政学・金融論研究連絡委員 (至平成9年10月)
平成8年9月 学校法人神奈川大学法人評議員 (至平成14年9月)
平成8年9月 学校法人神奈川大学常務理事 (至平成14年9月)
平成9年10月 日本学術会議経済制度研究連絡委員 (至平成12年10月)
平成15年7月 東北学院大学経済学部非常勤講師 (集中講義) 証券市場論

学会活動等

証券経済学会代表理事 (平成9年6月乃至平成13年6月)
金融学会理事 (平成4年5月乃至平成8年5月)
日本学術会議財政学・金融論研究連絡委員会委員 (平成6年10月乃至平成9年10月)
日本学術会議経済制度研究連絡委員会委員 (平成9年10月乃至平成13年6月)
証券経済学会顧問
信用理論研究学会会員
経済学史学会会員
経営財務研究学会会員
金融構造研究会会員
統計研究会会員
日本証券経済研究所評議員
かながわ大学生涯学習推進協議会会長 (平成10年6月乃至平成14年6月)

著書・共著・編著等

『信用制度と株式会社』新評論 昭和49年1月
『銀行論入門』八千代出版 昭和50年4月
『証券経済論』税務経理協会 昭和54年5月
『株式会社の経済学説』新評論 昭和58年11月
『明治の取引所論』白桃書房 平成10年11月
『金融資本論入門』(飯田裕康, 高山満, 野田弘英氏と共著) 有斐閣 昭和52年11月
『現代日本の財政金融』(渡辺精一, 小林晃, 吉沢法生, 池上和夫氏と共著) 白桃書房 昭和56年5月

- 『証券改革』（神崎倫一，貝塚敬明，上村達男，川口恭弘，ローレンス・ペセタ氏と共著）東洋経済新報社 平成 3 年 10 月
- 『中産階層の土地・株と税金対策』（長谷川徳之輔氏らと共著）東京教育情報センター 平成 4 年 4 月
- 『デリバティブ百科』（富尾一郎氏と共著）東京教育情報センター 平成 9 年 4 月
- 『銀行・証券・保健の経営・会計・税務百科』（細見卓監修，共著）東京教育情報センター 平成 9 年 10 月
- 『銀行論講義』（編著）新評論 昭和 61 年 3 月
- 『現代金融論』（編著）文眞堂 平成 2 年 5 月
- 『金融論』（編著）ミネルヴァ書房 平成 7 年 3 月
- 『金融・証券ビッグバン——金融・証券改革のゆくえ』（神奈川大学入門テキストシリーズ）御茶の水書房 平成 16 年 3 月
- 『金融・証券論の研究』白桃書房 平成 16 年 4 月
- 『金融・証券改革の深層底流』御茶の水書房 平成 16 年 6 月
- 『わかりやすい証券市場論入門』白桃書房 平成 16 年 7 月
- 『現代証券金融論の課題』白桃書房 平成 17 年 9 月
- 『新訂・わかりやすい証券市場論入門』白桃書房 平成 19 年 3 月
- 『証券市場と株式会社』白桃書房 平成 19 年 3 月
- 李碩崙・李政秀『銀行概論』（日本語版監修）白桃書房 平成 6 年 6 月
- 李碩崙『韓国貨幣金融史』（日本語版監修）白桃書房 平成 12 年 5 月

翻 訳

- G. H. ピーターズ『金融と財政の理論』（小林晃氏と共訳）ミネルヴァ書房 昭和 49 年 2 月〔増補版 昭和 52 年 3 月〕（G. H. Peters, *Private and Public Finance*, Methuen, London, 1971）
- R. プリングル『現代イギリスの銀行業』（山中豊国，野田弘英氏と共訳）新評論 昭和 50 年 5 月（R. Pringle, *Banking in Britain*, Dunod, Paris, 1973）
- W. A. トーマス『イギリスの金融・証券革命』（小林襄治，吉沢法生，飯田隆氏と共訳）東洋経済新報社 昭和 63 年 1 月（W. A. Thomas, *The Big Bang*, Philip Allan, London, 1986）

辞典項目

- 『体系証券辞典』東洋経済新報社 昭和 46 年 9 月（「株式会社の歴史」「制度と機構」）
- 『ジャンルジャポニカ』小学館 昭和 50 年 6 月（「金」「管理通貨制度」「本位制度」「発券制度」「信用」）

『経済学辞典』岩波書店 昭和 54 年 6 月 (「資本信用・流通信用」)

『現代証券事典』日本経済新聞社 昭和 56 年 12 月 (「株式会社の経済的役割」)

『日本大百科全書』小学館 昭和 59 年 12 月 (「イングランド銀行」「銀行」「銀行主義」「地金論争」「信用」「信用創造」「通貨主義」「通貨論争」「ナショナル・ウエストミンスター銀行」「パークレイズ銀行」「ビル・ブローカー」「ロイズ銀行」「ロンバード街」)

『朝日人物事典』朝日新聞社 平成 2 年 2 月 (「波多野鼎」)

『経済学辞典』(第三版) 岩波書店 平成 4 年 3 月 (「創業者利得」)

『経済思想史辞典』丸善 平成 12 年 6 月 (「マネタリズム」「企業者論」「株式会社学説」)

『金融辞典』大月書店 平成 14 年 4 月 (「ビッグ・バン」)

学界サーベイ

『経済学の動向』(中巻) 東洋経済新報社 昭和 50 年 1 月 (「証券市場」)

『信用理論研究入門』有斐閣 昭和 56 年 9 月 (「株式会社」「金融資本と株式会社」)

『経済学の動向』(第二集) 東洋経済新報社 昭和 57 年 3 月 (「証券市場」)

『株式会社論邦語文献目録』『商経論叢』第 18 巻 2 号 昭和 58 年 2 月

論 文

「金融資本と銀行資本」『経済論究』12 号 昭和 37 年 7 月

「株式会社発生史論の問題点」『経済論究』14 号 昭和 38 年 7 月

「『帝国主義論』における方法上の特質」『経済学研究』第 30 巻 2 号 昭和 39 年 6 月

「株式会社論の史的展開」『商経論叢』第 2 巻 2 号 昭和 41 年 10 月

「英国初期鉄道会社の創業と金融」『経済貿易研究』第 4 号 昭和 42 年 4 月 (後に『金融論選集』第 15 号に収録)

「株式会社論の系譜」『金融ジャーナル』第 8 巻 4 号 昭和 42 年 4 月

「金融資本の成立」竹村脩一編『金融経済論』有斐閣, 所収 昭和 43 年 2 月

「資本集中と株式会社——株式会社論の基礎」『商経論叢』第 3 巻 3 号 昭和 43 年 2 月

「信用制度と株式会社」『商経済論叢』第 5 巻 3・4 合併号 昭和 45 年 1 月

「『金融資本論』における株式会社と銀行」『商経論叢』第 6 巻 1 号 昭和 45 年 4 月

「利子つき資本と株式会社」『商経論叢』第 6 巻 3 号 昭和 45 年 6 月

「信用制度と株式会社」『金融経済』第 128 号 昭和 46 年 6 月

「個別資本と株式会社」『商経論叢』第 7 巻 4 号 昭和 47 年 1 月

「英国初期の有限責任」『商経論叢』第 8 巻 2 号 昭和 47 年 12 月

「創業利得の二重性」『金融ジャーナル』第 14 巻 13 号 昭和 48 年 11 月

「株式会社の基礎構造」『商経論叢』第 10 巻 1 号 昭和 49 年 8 月

- 「銀行経営の理論と問題」高木暢哉編『銀行論』有斐閣、所収 昭和50年5月
- 「株式会社の基礎構造（二）——株式擬制資本と株式証券市場」『商経論叢』第12巻1号 昭和51年7月
- 「信用制度と株式会社」（川合一郎編著『金融論を学ぶ』有斐閣所収） 昭和51年9月
- 「証券市場と歴史の逆説」『商経論叢』第13巻2号 昭和52年11月
- 「ラングトン・ペーパー（The Langton Papers）について」『商経論叢』第13巻1号 昭和52年11月
- 「アダム・スミスの株式会社論」『経済貿易研究』第5号 昭和53年1月
- 「商業信用と銀行信用」（竹村脩一・玉野井昌夫編『金融経済論』有斐閣所収） 昭和53年5月
- 「アダム・スミス株式会社論の意義——『諸国民の富』第5篇における組織と個人」『商経論叢』第14巻1号 昭和53年7月
- 「ジョン・スチュアート・ミルの株式会社論」『金融経済』173号 昭和53年12月
- 「わが国における株式会社論の展開——戦前期」『経済貿易研究』第6号 昭和54年3月
- 「ジョン・スチュアート・ミルのアソシエーション論——ミル株式会社論の背景」『神奈川大学創立五十周年記念論文集』昭和54年11月
- 「わが国における株式会社論の展開——戦後期」『経済貿易研究』第7号 昭和55年3月
- 「株式会社論の研究動向と問題点」『証券経済学会年報』第15号 昭和55年5月
- 「不換通貨と現代資本主義」（高木暢哉編『現代の貨幣・金融』ミネルヴァ書房、所収） 昭和55年5月
- 「ゾンバルトの株式会社論」『商経論叢』第16巻3号 昭和56年2月
- 「金本位復帰論の背景を探る——レーガン政権の貨幣哲学」『世界経済評論』昭和57年6月
- 「現代貨幣諸学説批判」『資本論体系』第二巻「商品・貨幣」所収 有斐閣 昭和59年3月
- 「信用理論の方法——ファレンチン・ワグナーの場合」『金融構造研究』第6号（地方銀行協会） 昭和59年7月
- 「信用創造」『資本論体系』第六巻「利子・信用」所収 有斐閣 昭和60年4月
- 「信用理論の基本構造（一）～（四）」『経済貿易研究』第12・13合併号、第14号～第16号 昭和62年3月～平成2年3月
- 「『世界貨幣』論史・管見」『経済貿易研究』第17号 平成3年3月
- 「証券手数料の自由化が及ぼす影響」（『これからの日本の金融』（吉野昌甫編）経済法令研究会収載） 平成4年10月
- 「田口卯吉の取引所論」『証券研究』第105号 平成4年11月
- 「田口卯吉の株式会社論」『商経論叢』第28巻2号 平成5年3月
- 「金融自由化の深層底流」『地銀協月報』平成5年4月
- 「歴史的屈折点を迎えたわが国銀行制度」『金融ジャーナル』平成5年7月

- 「コーンズ商会 (Cornes & Co.) 関係文書について」『商経論叢』第30巻1号 平成6年9月
- 「天野為之の取引所論」『商経論叢』第30巻3号 平成7年1月
- 「天野為之の取引所論とその特質」『商経論叢』第30巻4号 平成7年3月
- 「明治の取引所論」『福岡大学商学論叢』第39巻3・4号 平成7年3月
- 「取引所の意義と役割——福沢諭吉に学ぶ」『証券研究』第114号 平成8年2月
- 「福沢諭吉の取引所論」『商経論叢』第31巻2号 平成8年2月
- 「コーンズ商会 (Cornes & Co.) 関係文書について (その二)」『商経論叢』第31巻3号 平成8年6月
- 「投机論史小考」『商経論叢』第31巻4号 平成8年3月
- 「金本位制における『貨幣』の意義」『商経論叢』第32巻2号 平成8年9月
- 「福沢諭吉の取引所論・追補」『商経論叢』第32巻3号 平成8年12月
- 「明治の取引所論」『現代経済の諸問題』神奈川大学大学院経済学研究科創立30周年記念論文集 平成9年2月
- 「柳田國男の信用組合論」『商経論叢』第32巻4号 平成9年5月
- 「金融自由化と成熟経済」『神奈川大学創立七十周年記念論文集』平成10年11月
- 「明治期における取引所論史の研究」(野田弘英・原田善教の両氏と共同執筆)『先物取引研究』第3巻2号 平成10年11月
- 「『ビッグ・バン』と到来する市場の時代」『熊本学園大学経済論集』第5巻3・4合併号 平成11年3月
- 「金融ビッグ・バンとオープンマーケット」『金融ビッグ・バンの根底にあるもの』日本学術会議 経済制度研究連絡委員会報告 平成11年12月
- 「コーンズ商会 (Cornes & Co.) 関係文書について (三) ——Macclesfield 探訪」『商経論叢』第35巻2号 平成11年12月
- 「成熟経済とオープンマーケット」『商経論叢』第35巻3号 平成12年1月
- 「資料紹介『典拠局回顧談』三上豊氏談」『商経論叢』第35巻3号 平成12年1月
- 「株式会社とジョイント・ストック・カンパニー」『商経論叢』第31巻1号 平成14年8月
- 「金融システムの変貌と証券取引所」杉江雅彦編『証券・金融市場の新たな展開』晃洋書房, 所収 平成14年12月
- 「証券取引所の環境変化とデミューチュアリゼーション」『商経論叢』第38巻4号 平成15年5月
- 「資料紹介・山口茂『共栄圏財政金融調査協議会』における報告」『商経論叢』第38巻3号 平成15年3月
- 「コーンズ商会 (Cornes & Co.) 関係文書について (四) ——Amy Cornes (山田千代) の周辺」『商経論叢』第39巻1号 平成15年3月

- 「取引所の構造変化——中央卸売市場流通の場合」『商経論叢』第39巻2号 平成15年11月
- 「制度論の位相と制度設計」『商経論叢』第40巻3号 平成17年2月
- 「敵対的買収に関する覚書」『経済貿易研究』31号 平成17年3月
- 「ケインズ『美人投票論』の謎」『商経論叢』第40巻1号 平成16年9月
- 「日本の金融と金融の未来」『神奈川大学評論』50号 平成17年
- 「黄金株についての覚書」『商経論叢』第41巻2号 平成18年3月
- 「金融商品取引法の歴史的意義」『商経論叢』第41巻3・4合併号 平成18年3月
- 「『自己資本』という問題」『商経論叢』第41巻3・4合併号 平成18年3月
- 「去来する投資家と株式会社の対市場責任」『商経論叢』第42巻1号 平成18年5月
- 「機関投資家と株主総会」『商経論叢』第42巻1号 平成18年5月
- 「M&Aと証券市場」『商経論叢』第42巻2号 平成18年9月
- 「自主規制機関としての証券取引所」『商経論叢』第42巻2号 平成18年9月
- 「証券市場と株式会社」『商経論叢』第42巻3号 平成19年3月
- 「三角合併と日本経済」『経済貿易研究』33号 平成19年3月
- 「株式会社制度の行方——投資ファンド化への変化の予兆」『経済貿易研究』33号 平成19年3月

時評等

- 「円はどうか」『横浜市勤労市民ニュース』昭和47年6月
- 「投融资規模の拡大と民間資金活用」『近代セールス』増刊号 昭和50年2月
- 「銀行論新講（一）～（六）」『近代セールス』連載 昭和50年4月～9月
- 「最近の国際通貨問題について」『かながわトレード・ニュース』第74号 昭和53年5月
- 「企業の資金余剰と金融市場の変化」『銀行実務』第9巻3号 昭和54年2月
- 「金融機関の種類と役割」『銀行ビジネス』第十四巻四号 昭和55年3月
- 「銀行法改正と銀行業務」『銀行ビジネス秋季増刊号』昭和56年9月
- 「預貸金動向と収益問題」『金融総合年鑑』昭和56年11月
- 「証券市場の構成員」『銀行ビジネス』昭和57年11月
- 「銀行業務の規定」『銀行ビジネス』昭和58年3月
- 「預貸金動向と収益問題」『金融総合年鑑』昭和58年12月
- 「ユーロ円の自由化」『ビジネスアップ』昭和59年10月
- 「預貸金動向と収益問題」『金融総合年鑑』昭和59年12月
- 「銀行の経営環境はどう変わりつつあるか」『ビジネスライナー』昭和63年3月
- 「金融自由化のベクトルを分析する」『ビジネスライナー』昭和63年12月
- 「金融先物・オプション新時代と今後の展望」『ビジネスライナー』平成1年6月

「欠落した『何故相互参入は必要か』の議論」『エコノミスト』平成3年6月25日

「金融構造改革」『エコノミスト』平成4年5月19日

「金融システム不安を招いた大蔵省の罪」『エコノミスト』平成4年10月6日

「悪魔に魅入られた企業モラル」『This is 読売』平成3年9月

「証券制度改革への私見」『経済倶楽部講演』東洋経済新報社 平成3年11月

「証券市場の信頼性回復に向けて」『月刊資本市場』第75号 平成3年12月号

“Toward Regaining the Public Trust in the Securities Market.” *CaMRI Review*, No. 22 June 1991.

「銀行は質屋か」『旬刊経理情報』634号 平成3年10月10日

「株式市場の透明性の確保について」『金融ジャーナル』第32巻12号 平成3年12月

「ディスクロージャーと銀行の経営責任」『旬刊経理情報』658号 平成4年7月

「わが国証券市場の構造改革に向けて」『証券アナリストジャーナル』第31巻1号 平成5年1月

「持合い株式解消の動きを探る」『時局』平成6年12月

「証券会社は半減する？」『This is 読売』平成7年7月

「金融市場の仕組み」『月刊オルタ』平成7年10月～平成8年2月

「金融制度改革の根底にあるもの」『時局』平成8年11月

「消費者金融のさらなる発展は可能か」『時局』平成10年2月

書 評

「天利長三『百万人の金融論』」『商経論叢』第9巻3号 昭和48年11月

「日本証券経済研究所『アメリカの公社債市場』」『エコノミスト』昭和50年10月

「大内力編『現代金融』」『世界経済評論』第21巻3号 昭和52年3月

「川合一郎編『現代金融論(上)』」『週刊読書人』昭和53年10月9日

「M. マイヤーズ, 吹春寛一訳『アメリカ金融史』」『佐賀大学経済論集』第31巻1号 昭和55年7月

「森静朗『叙事詩・マネー』」『金融ジャーナル』平成2年2月

「『昭和財政史第十巻・「金融(2)」』」『神奈川大学評論』第11号 平成4年2月

「後藤新一『金融制度の改革と展望』」『金融ジャーナル』第33巻9号 平成4年9月

「浜田博男編『アジアの証券市場』」『エコノミスト』平成5年10月

「西條信弘『金融制度の改革と証券業』」『金融ジャーナル』平成6年8月

「清水嘉治『新地域主義論』」『神奈川大学評論』第19号 平成6年11月

「後藤新一『銀行崩壊』」『エコノミスト』平成8年1月16日

「伊藤修『日本型金融の歴史的構造』」『神奈川大学評論』第24号 平成8年

「稲富信博『イギリス資本市場の形成と機構』」『証券経済研究』第28号 平成12年11月

「諸田實『フリードリッヒ・リストと彼の時代』」『神奈川大学評論』第46号 平成15年11月

雑 録

「株式会社の経済思想」日本経済評論社月報『評論』第6号 昭和52年8月

「銭の国のよしあし」『学問への誘い』（神奈川大学）昭和61年12月

「メーデーとビッグ・バン」『神奈川大学経済貿易研究所四季報』第二・三・四合併号 昭和62年3月

「ゲーテの貨幣観」『神奈川大学経済貿易研究所・研究者の窓』第九・十合併号 昭和63年10月

「対談・証券業界改革の進め方——有識者懇談会報告について」（香川保一氏と）『月刊資本市場』78号 平成3年2月

「経済座談会・問われる証券業界——バブル経済と企業の姿勢」（神崎倫一，若杉敬明，佐高信，田中直毅，水城武彦氏と）NHKTV 平成3年6月30日

「経済座談会・証券・金融不祥事と日本経済」（竹内宏，内橋克人，岩国哲人，太田弘子，水城武彦氏と）NHKTV 平成3年9月1日

「バブル経済その後」ラジオ日本 平成3年10月20日

「日本の中産階級の財産をどう守るか」（長谷川徳之輔氏と対談）東京教育情報センター『中産階級の土地・株の税金対策 Q&A』所収，平成4年4月

「経済学部で何を学ぶか」『学問への誘い』（神奈川大学）平成6年12月

「韓国訪問記」『神奈川大学経済貿易研究所・研究者の窓』第24号 平成6年12月

「信用組合の救済（上）（下）」『信濃毎日新聞』平成7年3月5日，12日

「イギリスの旅」『神奈川大学経済貿易研究所・研究者の窓』第26号 平成7年11月20日

「こんばんや抄」『神奈川大学経済貿易研究所・研究者の窓』第28号 平成8年10月20日

「株式会社の経済思想」『神奈川大学経済貿易研究所・研究者の窓』第29号 平成9年2月20日

「「できる」ことの危うさ」『神奈川大学・市民講座通信』平成9年3月（のちに『学問への誘い』1998年版収録）

「日銀とは」『月刊オルタ』平成9年4月

「株式会社の示唆するもの」『神奈川大学評論』平成9年3月

「金融政策とは」『月刊オルタ』平成9年6月

「座談会・幕末の外国商人たち——生麦事件の周辺」（吉村昭，宮沢真一，斎藤多喜夫氏と）『有隣』（有隣堂）361号 平成9年12月10日

『愉快辞典』白桃書房 平成16年4月

『愉快大辞典』白桃書房 平成19年3月

学会・研究会報告

「金融資本の歴史と論理」金融学会 京都大学 昭和 38 年 11 月

「一九三〇年以降の商業銀行の資産構造の変化について」金融学会 青山学院大学 昭和 43 年 5 月

「信用制度と株式会社」金融学会 成城大学 昭和 46 年 5 月

「ヒルファディングの株式会社論」(討論) 金融学会 青山学院大学 昭和 49 年 5 月

「アダム・スミスの株式会社論」金融学会 学習院大学 昭和 53 年 5 月

「ジョン・スチュアート・ミルの株式会社論」金融学会 中央大学 昭和 55 年 5 月

「ソウルにおける日本の銀行」(討論) 金融学会 香川大学 平成 4 年 11 月

「株式会社論の系譜」証券経済学会 明治大学 昭和 43 年 5 月

「証券市場と資本信用」(コメント) 証券経済学会 大阪市立大学 昭和 43 年 10 月

「金融資本論における株式会社論の特質」証券経済学会 中央大学 昭和 46 年 5 月

「株式会社論の研究動向と問題点」証券経済学会 早稲田大学 昭和 54 年 5 月

「証券市場における競争」証券経済学会 武蔵大学 平成 4 年 5 月

「明治期の証券市場論」証券経済学会 九州産業大学 平成 8 年 10 月

「証券取引所の環境変化とデミューチュアリゼーション」証券経済学会 北星学園大学 平成 14 年 11 月

「株式会社と信用制度」信用理論研究学会 岡山大学 昭和 42 年 10 月

「信用制度と株式会社」(討論) 信用理論研究学会 大分大学 昭和 43 年 10 月

「株式会社論の動向」信用理論研究学会 立命館大学 昭和 55 年 11 月

「先物取引と投機」信用理論研究学会 大東文化大学 平成 4 年 6 月 (『信用理論研究』10 号 平成 5 年に収載)

「プリングル『バンキング・イン・ブリテン』」金融構造研究会 (地方銀行協会) 昭和 50 年 6 月

「V. F. ワグナーの信用学説史について」金融構造研究会 (地方銀行協会) 昭和 58 年 6 月

「成熟経済下の株式会社」日本大学商学部 (『社会科学における『資本』概念とその現代的意義』に関する研究会) 平成 18 年 11 月 2 日

講演等

「日本の株式市場」神奈川大学経済貿易研究所公開講演会 平成 3 年 9 月 21 日

「証券市場の信頼性回復に向けて」財団法人資本市場研究会講演会 (東京証券会館) 平成 3 年 10 月

「証券制度改革への私見」財団法人経済倶楽部講演会 (東洋経済新報社) 平成 3 年 10 月 (後に『経済倶楽部講演』平成 3 年 12 月 東洋経済新報社刊に収載)

「金融改革と証券改革」神奈川大学県民講座 平成 4 年 10 月 3 日

「わが国証券市場及び証券業の将来について」東証正会員協会（東京証券会館）平成4年11月2日

「座談会：金融制度改革を巡って——21世紀の資本市場を見据えて（上）（下）」神崎克郎・神田秀樹・森信茂樹・川村雄介・関要の各氏と）『月刊資本市場』95号・96号 平成5年7月・8月

「現代の銀行と証券市場」通産省通商産業研究所 平成6年2月

「激変する大学」読売新聞社主催（館昭，染谷正男，永井順国，桃井恒和の各氏と）パネルディスカッション 平成6年5月26日（池之端文化センター）

「日本経済再生への道」神奈川大学市民講座 平成6年5月14日，6月25日

「不況からの日本経済の脱出策」神奈川大学経済学部六十五周年記念講演会 平成6年10月6日

「日本の金融制度」通産省通商産業研究所 平成6年11月30日

「株式市場と日本経済」神大フォーラム札幌 平成7年6月23日

「わが国証券市場の展望」地方銀行協会 平成7年6月30日

「金融市場の仕組み」アジア太平洋資料センター 平成7年7月

「経済の国際化とこれからの日本経済」横浜市・横浜商工会議所・横浜市中企業振興事業団共催 平成7年8月3日

「日本経済の現状」神奈川大学同窓会全国支部長会 平成7年9月9日

「大学改革を踏まえて進路指導をどう進めていくか」全国高校進路指導協議会（シンポジウム）平成7年9月（『進路ジャーナル』1996年1月号に収録）

「円高問題と日本経済」関東ベスト会総会 平成7年9月4日

「株式市場と日本経済」神奈川大学企業と大学の懇談会 平成7年10月

「国際通貨体制の変遷及び現状」通産省通商産業研究所 平成7年10月

「わが国証券市場の現状と課題」地方銀行協会 平成8年7月

「株式市場と日本経済」神大フォーラム広島 平成8年9月

「金融問題を考える」神奈川大学市民講座 平成8年10月

「株式はどうなる」神奈川大学市民講座 平成8年11月

「わが国証券市場の現状と課題」地方銀行協会 平成9年4月

「ビッグ・バンと証券市場」地方銀行協会 平成10年4月

「金融システム改革と今後の証券市場の展望」地方銀行協会 平成11年4月

「日本版ビッグバンのもたらす影響」通産省通商産業研究所 平成11年6月

「金融システム改革と今後の証券市場の展望」地方銀行協会 平成12年4月

「日本版ビッグバン」通産省通商産業研究所 平成12年8月

「金融制度と資金運用の基礎知識」横浜市よこはま市民カレッジ 平成13年6月

「日本経済の課題」横浜広告協会 平成13年7月

「二十一世紀の日本の証券市場を展望する」 神奈川大学市民講座 平成13年11月

「2002年日本経済の行方」 横浜広告協会 平成14年1月

「日本経済と金融・証券」 神奈川大学フロンティア・クラブ 平成14年2月

「ペイオフ解禁と日本経済」 神奈川大学市民講座 平成14年3月

「金融・証券市場の変貌」 神奈川大学市民講座 平成14年5月

「『時代と農政』——農政学者柳田國男」 神奈川大学市民講座 平成14年5月

「神奈川大学の改革とその取り組み」 大学行政管理学会 平成14年9月 (『大学行政管理学会誌』 No.6 2002. に収載)

「現下の金融・証券問題」 神奈川大学宮陵会兵庫支部 平成14年9月

「今、日本の金融情勢は」 神奈川大学宮陵会東北ブロック会議 平成14年10月

「現下の金融・証券問題」 神奈川大学宮陵会新潟支部 平成14年11月

「二〇〇三年日本経済の行方」 横浜広告協会新春講演会 平成15年1月

「日本経済の行方を探る」 神奈川経済人クラブ 平成15年5月

「証券市場と資金の流れ」 神奈川大学市民講座 平成15年6月

「わが国の金融情勢と今後の流れ」 新潟商工会議所 平成15年7月